



男女共同参画社会とは、世代や性別にかかわらず、誰もが自分らしく暮らせる社会です。そのためにも、私たちの住む地域や身近な社会生活について、行政と市民が互いに知り、学び、考え、発信し合い、共に社会をつくって動かしていきましょう。

# しおかぜ

リレー  
エッセイ



**男女共同参画で  
建設業の常識を  
変える**  
株式会社橋本組  
支援部 部長 橋本 節子さん

私は橋本組という総合建設会社で採用・教育を担当しています。橋本組は焼津で創業し今年101年目の歴史ある建設会社ですが、常に新しいことに挑戦し続けているとても面白い会社です。

「建設業」と聞くと敷居が高いように感じる方もいらっしゃると思いますが、生活に密着した仕事であり、災害からみなさんの命を守り、暮らしを安心・安全・快適なものにする、なくてはならない仕事です。この仕事に対して魅力を感じ、男女の区別なく建設業を目指す人材を育成することは、地域の暮らしを将来に渡って守っていくために重要なことです。が、日本の建設業の現状は高齢化と担い手不足が深刻な問題となっています。

私の会社では業界の常識に捉われず、女性事務職を総合職へ転換し全社の給与体系を統一し、新卒社員には14カ月をかけて全ての部署を体験するOJTローテーション研修を行い、建設を学んでいない学生も安心して入社できる仕組み等を整備しています。

近年では、若い世代や女性の入社が多く、このようにな取り組みに手こたえを感じています。現在、社員260名のうち40%が30歳以下であり、またその内の43%を女性が占めています。建設現場で女性が当たり前になるまでには、昨年は静岡県男女共同参画社会づくり活動において「女性の活躍推進事業所」として知事褒賞もいただきました。何より社内に明るく若いエネルギーに溢れていると感じます。

今年からは社員の更なる成長のために官公庁との人材交流も開始し、第1号として期待を込めて女性社員を送り出しています。  
私の会社はこれからも建設の仕事で地域に貢献し続けるために、女性社員も男性社員も共に成長できる職場づくり・担い手づくりを今後も進めていきます。

## 子どもから大人まで

**女の子はなんでもできる!**

◎早川書房 (2020年)  
◎キャリル・ハート/ぶん  
アリー・パイ/え 富永 愛/やく

**対象** 幼児～

獣医、消防士、宇宙飛行士、探検家一女の子はなんにでもなれるし、なんでもできる!個性豊かな女の子たちが登場し、「どんなあなたもステキ!」と応援してくれます。女の子が夢を追うことを後押ししてくれる絵本。

**スペシャル Qトなぼくら**

◎講談社 (2022年)  
◎如月 かずさ/著

**対象** 中学生～

LGBTQのQ(クエスチョニング)の中学生を描いた青春小説。中2のナオは、同級生の久瀬がメイクをしてかわいい服で街を歩く姿を目撃して…。キュートなものが大好きなふたりは、おしゃれとメイクで絆を深めていきます。

**早く絶版になってほしい #駄言辞典**

◎日経 BP (2021年)  
◎日経 xwoman /編

**対象** 一般

ステレオタイプなひどい発言を「駄言(だげん)」と名付け、様々な角度から考える本。なくしたい駄言を集めた「駄言リスト」、キーパーソン6人への駄言に関するインタビュー、駄言との向き合い方も紹介しています。

※紹介した本は焼津・大井川図書館で借りることができます。  
※紹介: 焼津市立港中学校 学校司書 寺尾 由布子

## 読者の声

Aしおかぜ前号(63号)へ読者からご意見・ご感想が寄せられました。皆様の感想をお待ちしております。64号への感想はこちら!→

男性が育休を利用することについて、まだイメージを持っていない方もいます。実際に利用した方の声を聞くことで、育休に前向きな印象が生まれ、利用促進につながると思います。(30代)

1面を読んで、法改正のことを初めて知ることができました。育休中のパパ、その奥さんの生の声を聞けるのは実感がわき、実際の生活を想像しやすくて良かったです。育休をとるためには、職場の環境や理解と後押しがとても重要だと感じました。(40代)

制度改正についてわかりやすく解説され、興味を持ちやすい内容でした。また実際に育休をとられた方の感想を読み、育休のメリット(子どもとのふれあいなど)を、自分に当てはめて想像することで、育休に対して前向きに考えられるようになりました。(30代)

## 女性相談室

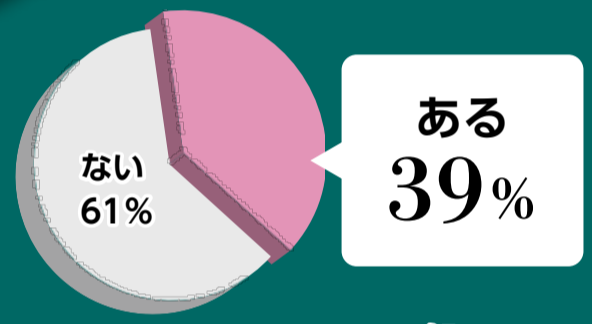
市では、女性が抱える悩み(夫婦のこと、生き方のことなど)を女性相談員(カウンセラー)が面談して共に考え、解決のお手伝いをする「女性相談室」を開設しています。相談は無料、予約制です。お気軽にご利用ください。

**相談日** 毎週木曜日 ①9時～ ②10時30分～  
第2・4火曜日 ①13時30分～ ②15時～  
※祝休日・年末年始を除く ※相談時間は約1時間です

**予約/問合せ** 市民協働課 ☎054-626-1178  
平日 午前8時30分～午後5時

## 無意識に

思い込んでいることはありますか?



ここ数年、社会全体で男女平等に関する取り組みは進んでいますが、まだまだ理解が深まっていない部分もあると思います。そのひとつに、偏ったモノの見方(アンコンシャス・バイアス)があります。そこで、今回は皆さんにアンケートを取り、色々な視点から見てみることにしました。あなたもこれをきっかけに、一緒に考えてみませんか?

皆さんの声を聞くためにアンケートをしました!

アンケート結果を見てみると、男だから・女だからという理由で嫌な思いをしたことがある、または諦めたことがある人が約4割もいることがわかります。自分の力だけでは解決できないことを理由に挑戦できないのは、辛い経験だと思えます。男は・女はこうであるべきだ、というフィルターがかかってしまい、日常的に意図せず相手を追い込んでいるかもしれません。

このように「アンコンシャス・バイアス」はとても身近にあるものなのです。今はまだこの言葉を知らない人が約9割もいますが、これをきっかけにまずは知ることからはじめてみませんか?

次のページからは、実際に皆さんから聞いたエピソードを紹介していきます。

「アンコンシャス・バイアス」という言葉を聞いたことがあり、知っていましたか?

知らない 89%



## アンコンシャス・バイアスとは

- 私たちは、何か見たり、聞いたり、感じたりしたときに、実際にどうかは別として無意識にこうだと思い込むことがあります。例えば、次のようなことを思うことはありませんか?
  - ✓ ゆとり世代は、協調性がない。
  - ✓ 日傘は、女性が使うものだと思う。
  - ✓ 血液型だけで相手の性格を想像することがある。
- これらを「アンコンシャス・バイアス」と言い、日本語では「無意識の思い込み」なども表現されています。このように、何気なく発した言葉で傷ついたり、嫌に思ったりしたことはありませんか? 相手にとってよかれと思ってやったことが裏目に出てしまうことがあるかもしれません。

ひとつ「働き方」を変えてみよう  
カエル! ジャパン  
Change! JPN

「仕事と生活の調和」の実現に向けて、ひとつ「働き方」を力えてみませんか?

詳細は→



# 編集後記

編集スタッフ Y・M・A



A!おかげの編集委員を通じて男女共同参画に関するいろいろなことを知ることができていますが、アンコンシャス・バイアスという言葉は初めて聞きました。

私も初めて聞きました。「偏見」だと責められているように感じますが、「無意識の思い込み」だと考え方を改めようという気になりますね。横文字にすることによって、より意識しやすくなる感じました。



私もこの言葉は、編集委員として関わる中で初めて聞いたものでした。でも意味を聞くと、私も自分の物差ししているような事を見ていて無意識に思い込んでいることが、実はたくさんあるかも知れないなあと思いました。

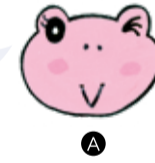


今まで私たちが当たり前のように言われてきたことも当たり前ではなくなっていますね。みんなが気持ちよく生活していくためにもまずは、知ることが大事なんだなと思いました。



今は多様性が求められていますからね。思い込みは誰にでもあると思うので、自分とは違う考え方の人と会った時、すぐに理解はできずとも受け入れる柔軟さが必要なのだと思います。

まずは自分自身の「無意識の思い込み」に気づくこと、そしてそこから自分が変わって行こうとすることで、周りの方たちへの影響力となり、その力によって、今後の私たちの社会がより良いものになっていくと良いなあと思います。



## 教えて!カエルくん

【作り方】

- 卵を溶きほぐし、砂糖ひとつまみを加えて混ぜる。フライパンに油を引き、薄焼き卵にする。出来たら半分に切り、丸めて細切りにしておく。
- 人参は2ミリの輪切りにして、星型で抜く。オクラは5ミリの輪切りに、トマトは8mmの半月切りにする。
- ささみは筋を取り除き、酒と塩を振る。フォークで穴をあけて皿に並べてラップをし、600wで1分加熱する。
- ②の人参とオクラは水を入れた耐熱容器に入れて、600wで1分加熱する。
- そうめんを茹でて冷水ですすぎ、水を切って平皿にのせる。
- トッピングをのせて、市販のめんつゆをかける。お好みでたいた梅を添える。



暑いからと、さっぱりそうめんだけの食事だと、エネルギー代謝に必要なビタミンB群や、体の材料となるタンパク質が不足し、夏バテの原因になります。卵はビタミンC以外の栄養素が含まれる万能食品。カラフル野菜は、利尿作用のあるカリウムや、美肌効果にもなるビタミンAやCも補えます。梅に含まれるクエン酸は、唾液の分泌を促進し、食欲や消化吸収アップにもつながりますよ!

風間さんのHPはこちら!



## 仕事

私が独身の時に職場の同僚が産休明けで復帰しましたが、お子さんが体調崩したり保育園から電話がかかってきた時に、申し訳なさそうに早退していて可哀想でした。そういう事を申し訳なく思わなくて良い世の中になって欲しい。(40代女性)

女性は朝早く職場に行き、お茶、コーヒーの準備からはじまり、片付けもやる。**役職が同じなのに男性はやらない。**(40代)

以前、同係に男性が1人しかいなかったことから雑務を押し付けられ大変だった。(20代男性)

短時間勤務を選ぶのは母が当たり前。仕方ないことはわかっているが、職場への申し訳なさや自分のモチベーションをあきらめることは必須。(40代女性)

子どもの時、親が兄には手伝いをさせず自分だけがやるよう言われて、不公平に感じた。(40代女性)

子どもの行事のために仕事を休んだところ、近所の女性に「あれ?旦那さん仕事は?」と声をかけられました。専業主夫の人もいますが、男性が日中仕事をしていないだけでそのように声をかけられるのは「男性は日中外で仕事をするもの」と思い込んでいるからではないでしょうか。嫌な気分になりました。(40代男性)

「男は仕事で大変だから、家事、育児はできなくても許してあげて」ということを同じ女である義母に言われた。新しく家庭を作っていくのに、なぜ男性はそれに関わらなくて当然という意識を持っているのかと絶望した。(40代女性)

やはり、男の人は家事を「手伝う」という感覚しかない。自分のやるものではないと思っている。(40代女性)

残業したくても家のことをやらなくてはならぬ。同期の男性は普通に昇進しているのに、女性なのに昇進してすごいね、と言われた。子どもを出産して育休を取ろうか悩んだ際、上司に「**育休を取るくらいなら辞めたら?**」と言われ、とてもショックだった。(50代女性)

男性の上司から「**結婚は?」「彼氏いないの?」「子ども作ったほうがいいよ**」としつこく言われた。(20代女性)

# もやもやエピソード

~これって自分だけ?~

アンコンシャス・バイアスは無意識であるため、なかなか自分では気づきにくいものです。自分の都合を優先したり、自分の要望を叶えようとしたりするときに、人は知らず知らずのうちに、つい「決めつけ」や「押しつけ」といった言動をとってしまうことがあります。皆さんからのエピソード、ぜひ「意識的」に読んでみましょう。何か気づきがあるかも知れません!



## 学業

志望校まであと少しだったため、来年挑戦しようと思いましたが、「**女子が浪人なんてダメ。お嫁に行き遅れると困るから。**」と説得され他の大学へ進学しました。挑戦しなかったです。(40代女性)

**男は稼ぎ頭だから、学歴を割ときかれる。**学歴は別にステータスとして、比べなくていいと思う。(20代男性)

高校のテストの順位表が男女別に集計されていて、当時の担任に「女子は点数が低い」と言われたこと。男女差は関係ないので言い掛かりだと腹がたった。(20代女性)

**女に高学歴は必要がない。**(男より学歴が高いのは)可愛げがないと言われた。(40代女性)

「女の子なのに四年制大学に行くの?あまり賢くなるとお嫁に行けないよ」と近所のおばさんに言われた。賢くなると男から嫌われる、頑張りすぎてはいけないという考えに納得がいかなかった。(50代女性)

中学の授業で、女性は裁縫料理、男性は技術と分けられていた。30年前のことなので時代的にそうだったのでしょう。ただ、違和感がありました。(40代女性)

## 私生活

女性なら化粧や身なりに気を遣って当たり前という意識。男も同じだと思う。高校生ぐらいまでは化粧はダメというくせに、大学生就職になった途端、メイクしてないのは失礼だと言われること。生理の辛さが理解されない。(40代女性)

男性らしい身体つきではないと痩せて弱々しく見られる。太りたくても太れないなど各個人に悩みがあるから容姿で非難するのはどうかと思う。(20代男性)

夫が娘のピンクの傘を借りて仕事に行ったとき「会社の人に笑われるよ」と私は言ったが、**ピンクは女性の色**と決まっているわけではないのに、何故そう思ったのか、あとから考えて不思議だった。(50代女性)

空いている**女性専用**車両を横目に、ぎゅうぎゅう詰めの普通車両に入った時は、何か不公平なものを感じました。(40代男性)

「**結婚したら、子どもを産むのが当たり前。**」なかなかできなかった私に、他人から色々言われました。できたらできたで、2人目を産めと言ってきます。余計なお世話です。(40代女性)

アイコンシャス・バイアスもセクハラと同じで「そう感じる」かどうかで認識が変わると思います。生まれ育った時代や環境にもよるのだと思いますが、個人的には「女性らしさ」「男性らしさ」は生まれ持った特権もあるのだと感じることも多く、そこまで不快に思ったことはありません。**年代によってかなり意識の差はあるのだ**と思います。(40代女性)